## 県立銚子高校 防災ジオツアーをガイドして

川原　俊久

11月9日（木）毎年行われている県立銚子高校1年生の防災ジオツアーがおこなわれました。生徒たちは通年の「防災の学び」という課題の一部としてこの「銚子防災ジオツアー」を行っています。

4クラスが別々に「市内コース」、「外川コース」、「犬吠埼・君ケ浜・小畑池コース」、「睦島台・名洗・屏風ケ浦コース」の地形を観察し、災害の歴史を聞き、今後の災害の予測を考えながら歩きます。

1クラス35名を2班に分けて都合8班が「防災ツアー」を行いました。私は「名洗コース」を担当しました。9時に前宿南に集合し「国土地理院アプリ」で標高26mを確認して始まりです。少し下りて「睦島台遺跡」の標高を確認し縄文時代に台地の下の西と南が海水道であったことを話し、その後、「ヒコーキ雲」の分岐まで歩きました。「銚子市防災アプリ」でここらが非常に軟弱な地盤であることを確認し、また以前銚子で大規模な内水氾濫が起き、その経験より作られた小畑川からの排水路を確認しました。小畑川に沿って名洗集落を下り津波の避難路を確認し、また急な崖地の土砂崩れ危険区域を確認しました。最後に海に出て東日本大震災後に建設されている6mの防潮堤を見ましたが津波が来たらまずは非難することを確認し12時に終わりました。

非常に穏やかな天気にめぐまれ、生徒たちは熱心にツアー参加してくれました。生徒たちがこの4コースをどのような「防災の学び」にまとめるのか興味があるなと思いながら終わりました。

## ガイドと意見交換「銚子の観光をどう盛り上げたらよいか？」に参加して

加瀬久美子

11月19日（日）安藤先生に引率された放送大学生20名を市民の会ガイド4名で、屏風ケ浦のガイドを13時30分～14時30分迄、その後に屏風ケ浦「紀銚」のマリーナデッキで14時30分～15時30分迄意見交換会を行いました。

当日は、少々風が強かったですが天候に恵まれ最高のガイド日和でした。

A班（10人）を宮内（敏）さんと加瀬が、B班（10人）を松家さんと向後さんが担当してガイドしました。

ガイド終了後は「紀銚」のマリーナデッキで「銚子の観光をどう盛り上げたらよいか？」の議題で、意見交換会を行いました。

1グループ5人の班に、ガイド1人が付きました。私が担当したB班は20代の女性2人と60代男性3人でした。まず開口一番に交通の便の悪さを指摘されました。地の利を生かした、体験型の観光を目指したらどうか？又、国指定名勝に指定されている屏風ケ浦沖に31基が並ぶ洋上風力発電での景観を観光に生かせないのか？等の前向きな意見が出ました。とても有意義で充実した2時間でした。また来年も参加させて頂こうと思いました。

## 私の銚子魅力発信のあゆみ

石毛　克也

銚子ジオパーク認定ガイド第1号の石毛克也です。

1970年代は国鉄が「ディスカバージャパン」のキャッチフレーズで、若者向けに周遊券という格安チケットを販売し、日本国内を見直す旅がブームでした。

旅好きの若者が格安で泊れるユースホステルが全国各地にあり、銚子にも犬吠駅の近くにユースホステル犬吠荘がありました。私が中学3年生～大学1年生の5年間に、犬吠荘で銚子にUターンで帰ってきた先輩たちと、銚子ドルフィンというボランティアグループを作り、銚子を盛り上げるイベント企画（ひなまつり、こどもの日、クリスマスなど）を行っていました。ユースホステルでは、夕食後、宿泊者と一緒に「五つの赤い風船の遠い世界に」などを歌ったり、銚子の見どころ紹介のため、宿泊者を連れてツアーガイドを実施しました。17年前に銚子にUターンし、10年前から今のメンバー達と銚子の街おこしをしています。

銚子市政90周年と、銚子電鉄100周年を盛り上げるために銚電犬吠ギャザーという企画を立ち上げ、犬吠駅で春まつり、こどもの日、ハロウィン、クリスマスのイベントを開催しました。銚子の魅力は1日では語れず、何度でも銚子に来てほしいので「また来て、ちょーし」を合言葉に、銚子の魅力を発信し続けています。

当時の犬吠荘のスタンプ

## 新春 俳句と川柳

山眠る　静かな静かな
ジオの森　　保立得造

冬の間はジオの森に入るとム
影も少なく、山道はヤマハゼの
紅葉が目を引きます。松笠や
オオバヤシャブシの種を付けた
小枝が落ちています。

初みくじ　半吉もよし
道半ば　　松家英彦

銚子には
日本一が沢山あるねと
孫が言う　　大安吉日